

第5回吉野川市鴨島地区中学校統合準備委員会会議録

日時 令和8年7月23日(木)
午後7時～午後8時10分
場所 市役所東館3階231会議室

会議次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
(1)各部会からの報告について
(2)その他
- 4 閉会

会議の経過

- | | |
|--------------|---|
| 1開会
(事務局) | <p>定刻がまいりましたので、ただいまから「第5回吉野川市鴨島地区中学校統合準備委員会」を始めます。</p> <p>会議に先立ちまして、机上にお配りしております本日の資料について確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・会議次第・資料1 総務部会報告事項
(関連) 別紙1-1 (ToDo リスト)・資料2 学校運営部会協議事項(報告)
(関連) 別紙2-1 (グラウンドデザイン)・2-2 (ロードマップ)・資料3 通学部会報告事項
(関連) 別紙3-1 (運行体制(案))・資料4 PTA部会協議事項(報告)
(関連) 別紙4-1 (運営骨子)・4-2 (会則案)
(参考資料)・制服の仕様書・小中学校あり方についてのアンケート・R8 委員名簿 <p>をお配りしております。以上の資料がお手元にございますでしょうか。</p> <p>※役員改選・人事異動に伴う新委員の紹介
※正副委員長が欠席のため、進行役の選任→総務部会長</p> <p>議事に入る前に、本日の出席委員数についてご報告いたします。
本日の出席者は17名で、委員の過半数の出席がございことから、設置要綱第5条第2項の規定により、本委員会が成立していることをご報告いたします。
議事進行は総務部会長にお願いします。</p> |
|--------------|---|

(総務部会長)	進行役を務めさせていただきます。スムーズな議事進行にご協力をお願いします。 議題1の「各部会からの報告について」ですが、前回(3/26)の会議以降に各部会の所掌事項についてご協議いただき、あるいは事務局において準備を進めているものと思います。その内容や進捗状況について順番に報告をお願いしたいと思います。まず、総務部会から報告いたします。
○総務部会報告 (総務部会長)	【資料1】総務部会報告事項をお願いいたします。 まず、校歌の制作についてですが、前回の会議で鴨島第一中学校OBの「井筒昭雄」氏に内諾を得たことを報告させていただきましたが、その後事務局においてメールにより、スケジュール調整や歌詞の参考となる資料の提供などを行いました。9月までを制作期間として設定し、先方で制作作業に取りかかっていたいただいているところです。9月中には歌詞や音源、楽譜が成果物として納品される見込みですが、10月のお披露目の手段については現在検討中であります。 次に、制服についてですが、デザインは前回の会議でお示ししましたが、各制服メーカーが同一のデザインで製作できるよう、参考資料として添付しておりますが「仕様書」の形で各社に共有させていただきました。仕様書の遵守を求め、色調や機能性について検査機関の承認を得ることで、色のばらつきや粗悪品が出回ることを防止する効果があるものと考えております。 次に、統合まで1年を切り、事務局と各学校で準備すべき事項を整理し、別紙1-1のToDoリストの形で校長先生方と共有させていただいております。校長先生との協議の中で、現在の2校の閉校と、鴨島中学校の開校に伴う式典の日程について調整したところ、レジュメにお示ししているとおり、閉校式は両校とも3/20(土)に実施することとし、鴨島東中学校は9時から、鴨島第一中学校は10時30分から時間差で開催する予定です。開校式は4/8(木)の9時から実施し、開校式終了後引き続き始業式を行う予定といたしました。また、記念誌の内容についても、これから調整をしていく予定としております。今後も両校と密に連携を取りながら、滞りなく開校が迎えられるよう引き続き準備を進めてまいります。 最後になりますが、統合後の跡地利用についても総務部会の協議事項となっております。両校の意向に基づき調整したところ、体育館とテニスコートについては、引き続き学校施設として維持し、鴨島中学校生徒の部活動等で使用するほか、学校が使用しない時間帯については社会体育施設として地域住民への貸出を行う予定としております。また、体育館については災害時の避難場所の指定もありますので、令和9年に空調を整備する予定としております。 一方で、校舎やグラウンドの利活用については、現時点で明確なプランはありませんので、その方向性について住民の意見を聞くためのアンケート調査を今年度中に実施する予定としており、その結果を踏まえて改めて検討したいと考えております。なお、6月の市議会において施設の利活用についての質問があり、今年度中に市民対象のアンケートを実施する旨の答弁をしましたのでご報告します。 その他、詳細につきましては、資料記載のとおりとなっておりますのでご高覧ください。以上ご報告いたします。
(総務部会長)	総務部会からの報告に対して、委員のみなさまからご意見やご質問はございますでしょうか。
(委員)	ToDoリストの中で、校訓パネルとヘルメットのステッカーのところがグレーの着色になっていますが、これはどういう意味でしょうか。

(事務局)	現在の鴨島第一中学校の各教室には、黒板の上に校訓を額縁に入れて掲示をしております。統合後においても新しい校訓を同様に掲示する予定としておりましたが、額縁やパネルの形でなくとも、また教室だけではなく玄関や廊下などにも、校訓を印刷したものを掲示することはできますので、パネルの形で製作は取りやめることとしました。 シールについては、ヘルメットがメッシュ形状のため、貼る場所が確保しにくく、なくても支障はないと思われますので、これも取りやめることとしました。
(総務部会長)	ほかに質疑がないようですので、総務部会からの報告について承認することとしてよろしいでしょうか。
(委員)	(異議なし)
(総務部会長)	ご異議がないようですので、引き続き開校に向けた準備を進めていただきますようお願いいたします。続きまして、学校運営部会から報告をお願いします。
○学校運営部会報告 (学校運営部会長)	【資料2】学校運営部会協議事項（報告）をご覧ください。 今年度につきましては、昨年度の協議事項等を踏まえつつ、上段に示す日程で、部会を開催いたしました。なお、第3回につきましては、両校の教職員を含めた各部会での協議を、8月4日（水）に予定しております。 それでは、「2 協議内容及び結果」について報告いたします。 (1) グランドデザインについてです。次のページ（別紙2－1）をご覧ください。 両校の校長先生にご尽力を賜り、学校運営部等で検討・協議を重ね、校訓「誠実」「共創」「挑戦」、学校教育目標「夢と志を抱き、郷土に誇りをもち、多様な仲間と共に学び合い、高め合い、確かな未来を切り拓く心豊かな生徒の育成」など鴨中教育の骨格となるグランドデザインが決定いたしました。詳細につきましては、教育長よりご説明いたします。
(教育長)	お手元の資料2に、カラー版として掲載しておりますが、本日、こうして新生・鴨島中学校の教育の骨格となるグランドデザインを皆様にお示しできることを、大変うれしく思っております。 これも、松本・堀川両校長先生が、生徒はもとより、保護者の皆様、地域の方々を大切に思い、新たな出発につなげたいという、ご尽力の賜でもあります。両校が大切にしてきたこれまでの歩みをしっかりと踏まえ、令和9年4月に開校する鴨島中学校への願いと決意を込めたものでございます。 加えて、今、大きな教育改革の時節を迎えております。と申しますのは、国が示す次期「学習指導要領」（中学校は令和13年度から本格実施となるもの）であります。現在中央教育審議会でも固まりつつあり、今年度中には公表されることとなります。今、お示ししているグランドデザインは、こうした国による新たな教育改革の方向性も踏まえ、完成させたものでもあります。 本日は、この一枚に込めた理念や思いを中心に、約15分程度に集約して、お話しをさせていただきます。 最初に校訓についてですが、学校づくりにおいて最も大切にしたいものが「誠実」であります。

「誠実」とは、真心をもって人や物事と接し、相手を思いやることはもとより、自分や他人に対しても偽りが無く、何事にも真摯に向き合う姿勢・態度のことです。時代と共に社会は大きく変わろうとも、この「誠実」な生き方こそ、人として生きていく上で「拠り所」となるものであります。「誠実」という理念は、何よりも大切にしたい鴨中教育の土台（基盤）となるものであります。

次に「共創」です。人は一人では生きていけません。子どもたちには、これからの社会を生きていく中で、多様な仲間と学び合い、認め合い、新しい価値を創造する力が求められています。子どもたちは、多様な人々との出会いを通して、持続可能な社会の創り手（担い手ではなく）創り手とならなくてはなりません。「知識習得型」の教育から「未来創造型」の教育への転換点にあたり、「共創」の精神は、21世紀のキーワードである「自立と共生」、そして「生きる力」を育む原動力となるものであります。

最後に、「挑戦」です。子どもたちは、いずれは親から自立して、自らの力で生きていかなければなりません。また、夢や志は、挑戦しなければ実現できません。ブーカの時代と言われる先行き不透明な時代を生きていく子どもたちには、学校生活においても失敗を恐れず、一歩踏み出す勇氣とチャレンジ精神をもって、強く、たくましく人生を切り拓く力を育み、ウェルビーイングな人生を歩んでいけるようにという思いも込めました。

以上、「誠実」、「共創」、「挑戦」の三つの校訓は、鴨中教育の柱となることはもとより、今、この準備委員会で取り組んでいる学校づくりの過程においても重なりうるものであると考えております。

次に、この校訓を日々の学校生活の中で支える言葉（モットー）として、「継続は力なり」を掲げたいと思います。子育てにも、教育にも近道はありません。なかなか理想通りに、思い通りにいきません。でも、毎日の学び、毎日の努力、毎日の積み重ねこそが、確かな未来を切り拓く大きな原動力となっていくます。誠実に、一生懸命、そして地道な努力の積み重ねこそが、いつの日か必ずや大きな力となり、「がんばってきて良かった！」そう思える日が来ることを信じて、このモットーを掲げました。この「継続は力なり」をすべての校訓につなげるとすれば、「誠実に取り組み続ける、仲間と学び続ける、挑戦し続ける生き方を！」ということになるかと思ひます。

次の学校教育目標とは、中学3年間（義務教育）のゴールとして、どんな生徒を育てたいかという生徒の姿を示したものです。今回、四つの願いを込めています。

一つ目は、夢や志を抱くこと。

二つ目は、郷土（ふるさと鴨島）に誇りをもつこと。

三つ目は、多様な仲間と共に学び合い、互いに高め合うこと。

最後四つ目は、確かな未来を切り拓くこと。

この四つを通じて、「心豊かな生徒の育成」をめざします。

AIを含むICT革命の時代、変化の激しい社会だからこそ、答えを教えてもらう人間ではなく、自ら考え、仲間と協働し、共に社会の創り手となりうる生徒を育てたい。そうした思いを、この教育目標に込めました。

続いて、本校がめざす学校像・生徒像・教師像についてご説明いたします。ここから以降は、校訓・モットー・学校教育目標に込めた思いをそれぞれに落とし込んでいくことになります。

私は学校づくりで大切なのは、「どのような教育を行うか」だけではなく、「どのよ

うな人を育て、どのような先生方と、どのような学校を創るか」という「人づくり」だと考えています。このことは、両校がこれまで大事にしてきた理念でもあります。

まず、学校像は、「誠実を礎に、生徒と教職員が共に成長する学校であり、SWPBS（スクールワイドポジティブ行動支援）を基盤にした自己教育力を育み、家庭や地域と共に歩む学校」です。一人一人が安心して学び、生徒の一生懸命が輝く学校を目指します。

次に、生徒像は、豊かな人間愛や思いやりの心を育み、ふるさと鴨島に誇りと愛着がもてる生徒を育てたいと思います。そのためには、信頼関係を築き、人と協働する力や、自ら粘り強く挑戦し続ける力、未来を切り拓いていく力の育成を目指します。

そして、教師像です。「教育は人なり」を礎とし、教職員自身が生徒と共に学び続け、互いに高め合いながら、子ども一人一人の可能性を信じ、子どもの成長に寄り添う教師集団、信頼と期待に応えることのできる教師集団を目指したいと考えています。

以上、この三つの姿が重なり合っこそ、鴨島中学校らしい教育が実現できるものと確信しています。

次に、今回最も大切にした言葉が、このコンセプトです。「生徒が主役の学校」そして、みんなが輝き、みんなで創る、みんなの学校。この「みんな」とは、主役の生徒はもちろんですが、教職員、保護者、地域、そして今日ここにお集まりいただいた皆様も含めた「みんな」です。学校は、子どもだけで創るものでも、教職員だけで創るものでもありません。地域とともに歩み、地域とともに育つ学校。だからこそ、「みんなの学校」という言葉を大切にしました。

次に、キャッチフレーズは、学校生活そのものを表しています。
「Let's Shine Together!!」思いつき輝こう。一人一人が主役の鴨島中学校。そして、みんなが輝く学校。そんな毎日をつくっていきたいと思っています。ところで、皆さんは生徒が輝いているとき、とはどんな瞬間、場面だと思いますか？我が子を見ていてもいろいろあるかと思います。ここでは一例として挙げてみます。

生徒が本当に輝く瞬間とは、テストで100点満点を取った時、これももちろん輝いている時ではありますが、それだけではないと思っています。
例えば、「成長を実感できたとき」、「ありがとうを伝えられた、あるいは伝えたとき」、「部活や勉強などで、できなかったことが出来るようになったとき、あるいは分からなかったことが分かるようになったとき」、「体育祭や文化祭などで、みんなで同じ目標に向かっていくとき、あるいはみんなで何かを成し遂げたとき」、「人の役にたった時」、「自分が認められた時」、「あきらめずにがんばっている時」、「もっとやってみようと思ったとき」あるいは「ひたむきに一生懸命になっている時」など、他にもたくさん瞬間があるかと思います。

私は、こうした生徒が輝くとき・その瞬間こそが、教育の原点だと思っています。日常生活におけるこうした瞬間を見逃さず、認め、励まし、日々大切に積み重ねていくことで、自己肯定感や自己有用感といった大切な感情を育み、「オンリーワンとしての鴨島中学校」の日常を築いていきたいと思っています。

次に、これまで申し上げた理念や思いを、具体的な教育活動に落とし込んでいくた

めに、6つの具体的ビジョンを掲げました。

1. 確かな学力。2. 豊かな心。3. 健やかな身体。この1～3をバランス良く育みながら、4. 縦のつながりとして、15年間を見通した幼小中の連携。5. 横のつながりとして、地域とともにある学校。6. そして、鴨島中学校ならではの特色ある教育、オンリーワン鴨中教育の実現。これらを着実に実践することで、理念を現実のものに、形にしていきたいと思います。

ここにつきましては、時間の関係上、ご確認願えたらと思います。

最後になります。本日、このグランドデザインが完成した旨を冒頭でお話いたしました。しかし、どれほど素晴らしい理念であっても、実践されなければ意味がありません。

学校教育においては、今日ここにお集まりいただいている各小・中学校の校長先生、教頭先生方はもとより、これまで子どもたちの成長を一生懸命に支え続けてくださった先生方の日々の努力があってこそ、学校教育は成り立っています。このことに私は、頭の下がる思いであり、その努力と歩みに、心から敬意と感謝を申し上げたいと思っています。

新生・鴨島中学校において、この学校を生徒が誇りに思い、ここで卒業できて良かったと思える学校にしていくためには、先生が元気で、やりがいを持って、先生自身が誇りに思える学校づくりとなるような環境づくりも大切であります。

学校は、グランドデザインが完成すればできるというものではありません。学校を創るのは、子どもを思う「人」の力であります。私は常々、本市の教育行政を進めるにあたり、「教育は人なり」を基盤に据えていきたいと考えています。

私は冒頭で「本日、鴨中のグランドデザインが完成した！」という旨の話をいたしました。これから子どもたち、教職員、保護者の皆様や地域の方々。そして、ここにお集まりいただいている全ての皆様が、それぞれのお立場で学校づくりに関わっていただくことで、初めてこのグランドデザインに魂が吹き込まれるのだと思っています。令和9年4月の開校は学校づくりのゴールではありません。

子どもたちが、毎日意欲・やりがいをもって登校し、充実した気持ちで明日も学校が楽しみだ！という思いで下校する、そんな学校、いわゆる「希望の登校、満足の下校」が、一人でも多くの生徒に実現出来たとき。保護者の皆様が、「この学校に通わせてよかった。」と思ってくれたとき。地域の皆様が、「鴨島中学校は地域の誇りだ。」そう感じていただけたとき、初めて、このグランドデザインは完成すると考えています。

来年4月から始まる新しい歴史・伝統・学校文化を、ぜひ皆様とともに築いていけたらと強く願っております。

どうか今後とも、新生・鴨島中学校へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。私からの説明とさせていただきます。ありがとうございました。

(学校運営部
会長)

このグランドデザインにつきましては、今後、両校で周知し、定例教育委員会での報告、地域への広報等を図ってまいります。

【資料2】にお戻りください。(2) 交流学习等についてです。

6月末に両校の管理職及び関係教職員による交流学习検討会を開催し、今後の交流学习について協議いたしました。その結果、次のことが決定し、一部実施されました。

生徒会の交流につきましては、第3回NSL会議（New School Leader 会議）を7月8日（水）に開催し、8月3日（月）に予定しております合同レクリエーション大会の内容・計画等について話し合いました。今後は、第4回を9月28日（月）、第5回を10月30日（金）に開催予定です。

また、今後の交流学習として、オブスタクルスポーツ、井筒昭雄さん講演会、校歌練習等を計画しています。

教職員相互の交流や生徒理解を図るために、相互授業参観を実施しております。7月には東中の教職員が一中での授業や生徒の様子等を参観しました。また、8月4日（火）の登校日には、一中の教職員が東中を訪問し、同様に授業参観を行います。今後も、生徒および教職員が交流し、情報交換・相互理解等を図ってまいります。

（3）開校に向けたロードマップ等については、別紙2-2をご覧ください。

これまでの学校運営部会を7つの部会に再編成し、各部会ごとのロードマップを作成いたしました。ここには掲載しておりませんが、あわせて各部会の詳しいロードマップを作成し、各部会協議等で活用する予定です。今後、見通しをもって計画的に開校準備を進める一助になればと思っております。

昨年度から協議している教育計画等につきましては、現在作成中のものにグランドデザインを落とし込み、主に教育課程部会、教頭部会で協議・校正等を重ね、11月を目処に完成できるよう進めてまいります。

また、新入生入学説明会は、関係する部会で計画的に準備を進め、鴨島中学校として合同で開催いたします。詳細につきましては、今後、検討いたします。

【資料2】にお戻りください。

（4）部活動についてです。

両校の部活動の実態等に基づき協議した上で、男子バスケットボール部、サッカー部、女子ソフトテニス部が拠点校方式で新しくスタートすることになりました。

以上、ご報告いたします。

（総務部会長） ただいまの学校運営部会からの報告に対して、ご意見やご質問はございますでしょうか。

（委員） 新入生への説明会があるとのことですが、在校生を対象とした説明会の予定はありますか。

（事務局） 他団体でも在校生への説明会を実施した事例はありまして、現時点で具体的な日程は決まっておりませんが、校則やスクールマナーなどの校内ルールに関する内容を中心とした説明会の実施について検討させていただきたいと思います。

（総務部会長） ほかに質疑がないようですので、学校運営部会からの報告について承認することとしてよろしいでしょうか。

（委員） （異議なし）

（総務部会長） ご異議がないようですので、報告いただいた内容を含めて、鴨島中学校の事業計画等について、引き続き具体的な検討を進めていただきたいと思います。
続きまして、通学部会から報告をお願いします。

○通学部会
報告
(通学部会長)

【資料3】通学部会報告事項をご覧ください。

通学距離がおおむね 5km を超える生徒を対象にスクールバスによる通学支援を行うという方針に基づき、昨年夏頃にスクールバスの利用希望調査を実施しましたが、約 1 年が経過し、生活状況や希望に変更がある可能性を踏まえ、前回調査でスクールバスの利用を希望された方を対象に、最終の利用意向調査を事務局において 6 月に実施しました。その結果については、資料 3 に記載のとおり、統合時において 1 号車は 5 人、2 号車は 20 人、統合 2 年目の 10 年度では 1 号車が 7 人、2 号車が 21 人の利用が見込まれることとなりました。

この結果により、1 号車は 10 人乗り、2 号車は 29 人乗りの車両を確保する必要がありますが、新車の受注をストップしている車種が多いことや、近い将来に生徒数の減少が見込まれることから、人数に合わせて車両を柔軟に運用していくために、リース契約を念頭に、中古車の購入も視野に入れながら、車両の確保を検討しています。また、運転業務については、現在高越小と山川中のスクールバス運行業務を委託している市内の 2 業者に、運転手の確保について打診をしております。

なお、別紙 3-1 の運行経路の 5 つの停留所については、事務局において所有者や管理者と交渉の上、警察と協議を行い、ご了承を得ておりますことを申し添えます。

以上ご報告いたします。

(総務部会長)

ただいまの通学部会からの報告に対して、ご意見やご質問はございますでしょうか。

(委員)

(意見なし)

(総務部会長)

では、通学部会からの報告について承認することとしてよろしいでしょうか。

(委員)

(異議なし)

(総務部会長)

ご異議がないようですので、来年 4 月からの通学支援がスムーズに行えるよう、車両の確保や運行計画について、引き続き必要な準備を進めていただきたいと思います。続きまして、PTA 部会から報告をお願いします。

○PTA 部
会報告
(PTA 部会
長)

【資料4】PTA 部会協議事項(報告)をご覧ください。

昨年末から両校の教頭先生を中心に、統合校における PTA の運営方法について調整をいただいております。特に、会則や役員選出の方法について、また令和 9 年度以降の会費の金額設定や現在の PTA 会計の取扱いについて、素案としてとりまとめでいただきました。4 月から 5 月に両校の PTA 役員にお示しし、ご意見を伺いました。現在の PTA の役員さんからは特に異議などはありませんでした。同じ内容について、PTA 部会でも 6 月に書面会議を行いました。特段のご意見はありませんでしたので、別紙 4-1 の運営骨子、4-2 の会則(案)の内容で鴨島中学校の PTA 組織を新たに立ち上げる方針としたいと思います。

その他、詳細につきましては、資料記載のとおりとなっておりますのでご高覧ください。以上ご報告いたします。

(総務部会長)

ただいまの PTA 部会からの報告に対して、委員のみなさまからご意見やご質問はございますでしょうか。

(委員)	(意見なし)
(総務部会長)	では、PTA部会からの報告について承認することとしてよろしいでしょうか。
(委員)	(異議なし)
(委員長)	ご異議がないようですので、PTA部会のみなさまにおかれましては、統合後のPTA組織にスムーズに移行し、将来にわたり円滑に運営できますよう、引き続き検討を進めていただきたいと思います。 続きまして、議題2の今後の方針について事務局から報告をお願いします。
(事務局)	それでは、統合に向けて、教育委員会事務局において準備を進めている事項や当面の予定についてご報告いたします。 先ほどの総務部会からの報告にありました「資料1-1 ToDolist」に記載しておりますスケジュールを基本として、状況により前倒ししながら、逐次準備を進めて参ります。 現在の進捗につきまして、先ほどの説明にもありましたが、校歌については、以前に募集した校歌の歌詞に取り入れたいフレーズのほか、新しい学校のグランドデザインや本市の自然、歴史に関する資料等を校歌制作者の井筒氏へ提供したうえで、制作に取りかかっていたいております。 その他、両校の閉校記念誌や鴨島中学校の校旗、部活動のユニフォーム等につきましても、業者から見積書の徴取を行うなど手続を進めているところであり、今後におきましても、両校の校長先生をはじめ、関係各所と連携を取りながら準備を進めて参りますが、事務局の考えが至らない部分も多々あると思いますので、委員の皆様におかれましては、気づいたことがございましたら、会議の場に限らず、いつでも遠慮なく事務局までご連絡いただければと思います。 次に、統合に向けた鴨島第一中学校校舎等の改修につきましては、本年度に北校舎棟の教室改修、照明のLED化、トイレ洋式化などに加え、屋内運動場の空調整備を、令和9年度に南校舎棟、職員室棟及び技術室棟の照明LED化改修などを計画しております。 本年度の改修工事につきましては、既に請負業者も決定し、各工事とも授業や学校行事にできるだけ影響のないよう、長期休業期間中や休日を利用して工事を進めて参りたいと考えております。 最後に、別添の参考資料「市立小中学校のあり方に関するアンケート」をご覧ください。すでにホームページやマチコミメール等によりご存じの方もいらっしゃると思いますが、8月6日を回答期限として、現在「市立小中学校のあり方に関するアンケート」を実施しております。 A3横長の資料、本年4月1日現在の住民基本台帳を基にした今後の児童生徒数の推計によりますと、令和12年度ないし令和13年度頃から、複式学級の編制を検討しなければならない小中学校が生じる見込みとなっております。 このような状況を踏まえ、教育委員会といたしましては、まずは保護者や地域の皆様に対し、今後の小中学校のあり方について、ご意見を伺うことといたしました。 今回のアンケートにつきましては、統合準備委員会の所掌事項ではありませんが、

委員の皆様からも貴重なご意見をいただきたいと思いますので、お時間のあるときに回答いただければと思っております。アンケートの所要時間は、5分から10分程度でございますので、是非ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

事務局からの報告は以上です。

(総務部会長) ただいまの事務局の報告について、ご意見・ご質問のある方は発言をお願いいたします。

(委員) 児童生徒の推計の中で複式学級の可能性が出てくるのは、具体的にどこの学校で何年頃でしょうか。

(事務局) 文部科学省の基準では、2年生以上で2つの学年の合計が16人以下となる場合に複式学級を編制するようになっております。例えば学島小学校の令和12年の新入生が2人となっており、次年度には基準を下回ることになります。

市立学校以外の学校への進学や支援学級に所属するお子さんも一定数いらっしゃることも考慮すると、想定より早く複式学級の編制を検討する時期がくることも予想されます。

(委員) アンケートの中で義務教育学校や小中一貫校に関する質問を設けた背景を教えてください。

(事務局) 今回のアンケートは、方針や計画を定める前段階として市民のみなさまの意向を伺うために行っているもので、現時点で市として方向性は決まっておりません。ご意見を伺うに当たり、他団体で義務教育学校や小中一貫校を設置し、小規模校の課題に取り組んでいる事例が散見されましたので、選択肢の一つとして挙げさせていただきました。

(委員) 体操服の選定に係る経緯と現状を教えてください。価格が上がって保護者の負担が大きくならないようにしてほしい。

(事務局) 体操服は運動時に着用することが多いので、通気性・伸縮性などの機能性を重視し、オリジナルのデザインではなく、各メーカーの既製品から提案いただいたものの中から選定しました。その際、現在の2校で使用している体操服の価格を上回らないことを条件としておりますので、原料価格の急激な高騰などの要因を除き、安定した価格で販売されるものと考えています。鴨島町内の制服販売店2店舗に取扱いのお願いはしております。

(総務部会長) 委員のみなさまからほかに何かご意見はございませんか。
では最後に教育長から一言いただけますでしょうか。

(教育長) お疲れのところを遅い時間までご協議いただきましてありがとうございました
今回から委員として新たに加わっていただきました5名のみなさんどうぞよろしくお願い申し上げます。

今回、4つの部会からの報告を拝聴いたしました。開校に向けてそれぞれの立場から真摯にご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます

令和9年4月の開校まで残り8ヶ月ですが、まだ多くの準備であつたり課題もございますけれども、私はみなさまのご理解・ご協力を得て、鴨島中学校は必ず素晴らしい学校になると大きな期待感を持っているところであります。引き続き子どもたちの未来のためにみなさまのお力添えをどうかよろしくお願い申し上げます

本日は二十四節気で大暑に当たります。くれぐれもご自愛ください。ありがとうございました

(総務部会長)

ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、第5回鴨島地区中学校統合準備委員会の会議を終了いたします。本日は、誠にありがとうございました。